



2025 年 7 月 31 日

コスモエネルギーホールディングス株式会社

コスモ石油株式会社

コスモ石油マーケティング株式会社

東京都内のサービスステーション 55 か所で

SAF の原料化を目的とした廃食用油市民回収を開始

～サービスステーションに回収ボックスを設置し、SAF 資源循環モデルを拡大～

コスモエネルギーホールディングス株式会社（代表取締役社長：山田 茂）のグループ会社であるコスモ石油株式会社（代表取締役社長：西 克司、以下「コスモ石油」）は、東京都（知事：小池百合子）、日揮ホールディングス株式会社（代表取締役会長 CEO：佐藤雅之、以下「日揮 HD」）、株式会社レボインターナショナル（代表取締役 CEO：越川 哲也、以下「レボインターナショナル」）と、2023 年 8 月に締結した「廃食用油回収促進事業」の協定に基づき、7 月 31 日(木)より、東京都内に所在するコスモネットワークのサービスステーション（ガソリンスタンド）55 か所に、家庭から出る廃食用油を回収する専用ボックスを設置します(一部サービスステーションでは先行開始済み)。本取り組みは SAF（Sustainable Aviation Fuel：持続可能な航空燃料）の原料化を目的とし、家庭から出る廃食用油が航空燃料へと生まれ変わるプロセスを市民の協力で実現する資源循環モデルです。



セルフピュア駒沢公園前

東京都内全域での回収には、2024 年 6 月より東京都内 3 か所のサービスステーションで実施してきた市民回収実証(※2)および大阪府堺市 11 か所、吹田市 5 か所のサービスステーションで実施している市民回収(※3、※4)で得た知見を活用します。また、本取組みはコスモ石油、コスモ石油マーケティング株式会社（代表取締役社長：高山 直樹、以下「コスモ石油マーケティング」）、コスモ石油販売株式会社（代表取締役社長：石本 耕二、以下「コスモ石油販売」）が、日揮 HD およびレボインターナショナルなどの関係各社と協力して実施するものです。各回収ボックスに集まった廃食用油はレボインターナショナルが収集し、国内初の SAF 大規模生産を行う合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY（代表者：高田岳志、以下「SAFFAIRE SKY ENERGY」）(※5) のプラント（コスモ石油堺製油所内）へ供給され、国産 SAF の原料として再資源化されます。

コスモエネルギーグループは、パートナーである日揮 HD およびレボインターナショナルと連携し、SAF のサプライチェーン構築に向けた事業開発を加速させるとともに、航空業界におけるカーボンニュートラルを推進します。また、日本国内における脱炭素化に向けた資源循環の機運を高め、国産 SAF の供給体制を強化してまいります。

<運用要領>

1. 運用開始日　すでに一部のサービスステーションでは先行して回収を開始しておりますが、7 月 31 日(木)より実施意向の確認ができた都内全域のサービスステーションで回収を開始いたします。

2. 回収時間帯

9：00～18：00(店休日を除く)

時間外に持ちこまれた場合、回収できません。

3. 回収容器

ペットボトル等のふたがしっかり閉まる容器

一部お受け取りできない容器がございます。

詳しくは各サービスステーションにお電話にてお問い合わせください。

4. 回収拠点

都内全域のサービスステーション

(一部、回収を実施していないサービスステーションもございますので、以下のリンクより実施店舗を確認の上、お持ち込みをお願いします。)

回収ボックスの設置場所および回収要領の詳細

https://www.cosmo-energy.co.jp/content/dam/corp/jp/ja/press/2025/250710-01/250710jp_01.pdf

5. その他注意事項

サービスステーションで回収できるのは家庭から出た食用油(常温液体の植物油)のみです。飲食店などで発生する事業系の油の回収はできません。



廃食用油回収ボックス設置イメージ（セルフピュア新宿中央）

○各社の役割

コスモ石油	SAF の製造および、航空各会社への輸送を主に担当し、安定した供給体制を確立する役割を担う
コスモ石油マーケティング	サービスステーションとその廃食用油の市民回収の運営統括、および航空会社への SAF の販売
日揮 HD	廃食用油を原料とする SAF 製造事業に関するサプライチェーンの全体構築
レボインターナショナル	サービスステーションから廃食用油を収集し、SAFFAIRE SKY ENERGY が大阪府堺市で稼働する日本初となる国産 SAF の大規模生産プラント向けに納入
SAFFAIRE SKY ENERGY	廃食用油を原料とした SAF の製造

〈回収から利用までの流れ〉

- つかう : ご家庭で揚げ物などに使った使用済みの食用油（廃食用油）を、ペットボトルなどふたの閉まる容器に入れる。
- 出す : ペットボトルなどの容器に入れた廃食用油を、サービスステーションに設置されている廃食用油回収ボックスに入れる。
- はこぶ : レボインターナショナルが廃食用油を回収し、コスモ石油堺製油所(大阪府堺市)構内にある SAFFAIRE SKY ENERGY 所有の SAF 製造装置まで輸送。
- つくる : 運ばれた廃食用油を原料として、SAF 製造装置にて SAF を生産。
- つかう : SAF が航空機に搭載され、航空燃料として利用される。



写真提供：合同会社
SAFFAIRE SKY ENERGY

※1 2023 年 8 月 3 日 プレスリリース

https://www.cosmo-energy.co.jp/content/dam/corp/jp/ja/news/2023/08/03/pdf/230803jp_01.pdf

※2 2024 年 6 月 24 日 プレスリリース

https://www.cosmo-energy.co.jp/content/dam/corp/jp/ja/press/2024/240624-01/240624jp_01.pdf

※3 2024 年 4 月 17 日 プレスリリース

https://www.cosmo-energy.co.jp/content/dam/corp/jp/ja/press/2025/250417-02/250417jp_02.pdf

※4 2025 年 7 月 1 日 プレスリリース

https://www.cosmo-energy.co.jp/content/dam/corp/jp/ja/press/2025/250701-01/250701jp_01.pdf

※5 2022 年 11 月 8 日 プレスリリース

https://www.cosmo-energy.co.jp/content/dam/corp/jp/ja/news/2022/11/08/pdf/221108jp_01.pdf

【国内初の国産 SAF 大規模生産事業について】

コスモ石油は、日揮 HD、レボインターナショナルと共同で国内での廃食用油の収集から SAF の製造・輸送・供給に至るまでのサプライチェーン構築に向けて事業化検討を進め、2022 年に新会社 SAFFAIRE SKY ENERGY を設立し、国内で発生する廃食用油のみを原料とした年間約 3 万キロリットルの SAF の供

給を目指しています。本事業は NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）より採択を受けた助成事業です。

NEDO ホームページ： https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3_100312.html

以上